



シルバー連合会

第35号

ふくおか

【平成25年12月発行】



目次

● 退任挨拶（生田前会長）…………… 1	● シニアワークプログラムのご案内… 5
● 新任挨拶（鹿野会長）…………… 1	● ふくおか子育てマイスターについて
● 平成二十五年度 安全就業促進大会…………… 2	…………… 6
● 平成25年度定時総会及び役職員研修会…………… 3・4	● 平成25年度 シニアワークプログラム 地域事業 技能講習実施状況 編集後記…………… 7

公益社団法人

福岡県シルバー人材センター連合会



ふくおか

第35号

【平成25年12月発行】



目次

●退任挨拶（生田前会長）…………… 1	●シニアワークプログラムのご案内… 5
●新任挨拶（鹿野会長）…………… 1	●ふくおか子育てマイスターについて
●平成二十五年度 安全就業促進大会 …………… 2	…………… 6
●平成25年度定時総会及び役職員研修会 …………… 3・4	●平成25年度 シニアワークプログラム 地域事業 技能講習実施状況 編集後記…………… 7

公益社団法人

福岡県シルバー人材センター連合会

退任にあたって

公益社団法人 福岡県シルバー人材センター連合会

前会長 生田 征生

この度、平成25年度の定時総会をもって連合会会長を退任いたしました。

平成21年6月から2期4年間の就任期間ではありましたがこの間、日本の政治、経済は大きく変動し、私たちのシルバー人材センターにも大きな影響がありました。就任中に多くのことがありましたが、私は次の二つのことが思い出として心に刻まれています。

その一つ目は、4年前の就任あいさつの中で私は、「国をはじめ市町村における行財政改革の推進により補助金が削減されて、シルバー事業の運営に少なからず影響を及ぼす」と申し上げました。

その年の夏の総選挙で政権が交代し、その後大きく補助金が減額になり、昨年12月の総選挙でまた政権交代がありました。どのセンターも運営に大変ご苦労されております。こういう時こそ、それぞれのシルバー人材センターでは、会員は「よい仕事を」、事務局は会員のために努力して、役員は明確な方針に基づく組織運営の向上に努めて、それぞれのシルバー人材センターが心を一つにして前進していただきたいと思っています。

二つ目は、平成23年6月1日に「公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会」へ移行ができたことです。今年の定時総会の段階でほとんどのセンターが移行完了をいたしました。残るセンターが今年11月末日の期限までに移行完了することを願うところです。

少子高齢化については、以前から大きな問題として論議されております。しかし、逆三角形の人口構成は急に変えることはできません。高齢者が増加する時代を迎え、シルバー人材センターの社会的な重要性が増して、会員の活躍の舞台が広がることを信じております。

最後に、関係する国並びに福岡県、市町村の皆様へ感謝の意を表するとともに、各シルバー人材センターが会員、地域社会のために、ご活躍されんことを心から願って、退任の挨拶といたします。

就任のあいさつ

公益社団法人 福岡県シルバー人材センター連合会

会長 鹿野 至

この度、皆様のご推挙により、公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会会長の重責を担うことと相成り、就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

前任の生田会長の福岡市行政における優れた業績やシルバー事業の発展に手腕を発揮されたことを思うとき、後任の私が果たしてこの重責を全うしご期待に添うことができるか不安感で一杯でございますが、受けた以上は全力を傾注し、この大役に当たる所存でございます。

ご承知のとおり我が国は、平成二十四年十二月の政権交代を期にアベノミクス経済施策のもとデフレ脱却を目指して、官民一体となって景気の浮揚に取組み始められたところ、市場も反応し円安・株高へと大きくシフトし経済が安定的成長へ向かい始めたところです。一方少子高齢化は、急速に進展し超高齢化社会へと一段と加速、社会環境も高齢者が、社会の担い手として活躍する時代が到来しています。国民一人ひとりが長生きして良かったと実感できる豊かで活力ある社会を構築していくことが国民的な課題となっております。

豊かで活力ある社会の実現に向かって、高齢者が長年にわたって培ってきた知識や経験を就業をとおしてできるだけ長く地域社会を支えていくことが望まれ、シルバー人材センターが果たす役割は、今後更に重要度を増し一層の発展・拡充を期待されているところです。

しかしながら、国を始め市町村の財政状況は一段と厳しさを増し、高齢者事業を行うシルバーに対する補助金は、年々減額を余儀なくされる状況にありセンターの運営には創意工夫が必要ではないかと思うところです。また、シルバー事業を取り巻く環境は年々自立に向けての措置を求められ、民間企業経営手法等を参考に役職員・事務局一体となつて知恵を出し、この難局を乗り切っていただいたい思う次第です。

私は、これまでシルバー人材センター事業に直接係わった経験はありませんが、これまでの行政経験を生かし、そして、なによりも皆様のご協力、ご指導を仰ぎながら、厳しい状況にあるシルバー事業を、更に飛翔し伸展するよう、微力ながら全力を尽くして取組む所存です。シルバー事業に携わる皆様のご指導、ご支援を切にお願い申し上げます。就任にあたっての挨拶といたします。

平成二十五年度 安全就業促進大会

平成25年7月11日(木)、大博多ホール(福岡市博多区)において、安全就業促進大会を開催しました。安全就業強化月間の一大イベントであり、県内全センターから総勢三百四十六名が参加し、優良センターや安全標語の表彰、事例発表や講演、閉会時には「安全就業宣言」を力強く行い、安全就業の徹底を、参加者全員で誓いました。

開会のあいさつに始まり、会長・来賓あいさつの後、連合会事務局長により安全就業センター、安全標語入選作の表彰選定に関する経過報告と表彰を行いました。

安全就業センターの表彰については、本年度は七センターが受賞しました。昨年の倍以上に増え、各センターとも、無災害、無事故に努力している現れです。安全標語については、今年度は二百五十二点の応募作品を、当連合会内に設置された安全標語審査委員会による審査を行いました。最優秀賞、優秀賞、佳作の計八点が選ばれました。本大会で表彰を受け、入賞者の皆さんには、表彰状、記念品が贈られました。

表彰後は、当連合会安全・適正就業対策委員会の高田澄男委員(公社)柳川市シルバー人材センター理事(社長)からの委員会報告、事例発表と続きました。事例発表は、(公社)築上町シルバー人材センター安全・適正就業委員長の鹿毛 政さんから、「事故0(ゼロ)を目指して」と題し、委員会の組織強化、担当委員の意識改革が大切なことを強調しておられました。



福岡県警察博多警察署による交通安全講話は、自転車の交通ルールについて」というテーマでした。交通総務係 小林 高德係長の講話中には、「事故が起きれば、被害者も加害者も、人生が一転してしまう。」という、事故の凄惨さと、命の大切さが伝わってくる内容でした。

記念講演は、福岡県保健医療介護部健康増進課健康づくり係技術主査 守 真奈美氏を講師に招き、「高齢者の健康づくり」についてお話をしていただき、通常私たちが理解している平均寿命の他に、人には「健康寿命」があることを話されました。健康寿命とは、心身共に自立した活動的な状態で生存できる期間のことをいうそうです。

ファイナーレは、(公社)久留米市シルバー人材センター安全推進委員会委員長 稲吉 保積氏による安全就業宣言が行われ、会員や職員一人一人が事故発生を重く受け止め、大切な仲間を失ったりすることのないよう、「事故ゼロ」に向けて、尚一層の安全就業を心がけることを、参加者全員で誓い閉会しました。

表彰標語一覧

最優秀賞

就業中 無理せず 焦らず 油断せず

(公社)小郡大刀洗広域シルバー人材センター 洲上 信吉

優秀賞

これくらい 甘い気持ちだが 事故招く

(公社)福津市シルバー人材センター 春口 和夫

安全が 危険に変わる その油断

(公社)筑紫野市シルバー人材センター 平島 太郎

佳作

気を付けて、慣れと油断が 事故を呼ぶ

(公社)春日市シルバー人材センター 井上 悦夫

災いは おごる心と 油断から

(公社)田川地区シルバー人材センター 永利 節夫

今一度、この目この手で 安全確認

(公社)築上町シルバー人材センター 篠田 雄司

ハツとした あの一瞬を 忘れずに

(公社)直方市シルバー人材センター 天江 安宏

慣れすぎた 心のゆるみが 招く事故

(公社)須恵町シルバー人材センター 早田アヤ子

平成25年度

定時総会及び役職員研修会

平成25年6月17日午後1時から博多都ホテル3階孔雀の間において、平成25年度の定時総会を開催しました。

生田征生連合会会長のあいさつに続き、来賓の福岡労働局職業安定部部长福味恵様及び福岡県福祉労働部労働局新雇用開発課課長山田信吾様にご挨拶をいただき、お二人から励ましの言葉をいただきました。

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会会長安藤弘志様よりのメッセージを披露した後、連合会定款第15条に基づき、正会員特別会員の中から議長の選出を行った。議長には公益社団法人太宰府市シルバー人材センターの西田道博理事長が選出されました。

議決権者43名のうち委任状を提出した2名を含め、43名全員の出席が確認されたので西田議長の求めにより、連合会定款第17条の定足数を満たしていることを事務局より報告し、議事が進められました。

議案は以下のとおりです。

第1号議案 平成24年度事業報告（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

第2号議案 平成24年度決算報告及び監査報告（平成24年4月1日～平成25年3月31日）の2議案を一括審議し、全員賛成で原案通り可決承認されました。

第3号議案 公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会定款の一部改正について諮ったところ、全員賛成で原案

通り可決承認されました。

第4号議案 役員の選出、任期満了に伴う連合会理事及び監事の選任について諮ったところ、全員賛成で原案通り可決承認されました。4号議案終了後、臨時理事会を開催し、会長・副会長・常務理事を選定していただきました。新役員の方は、次のとおりです。

会 長	鹿野 至	公益社団法人福岡市シルバー人材センター理事長	新任
副 会 長	櫛井 正喜	公益社団法人北九州市シルバー人材センター理事長	新任
常 務 理 事	猪口 紘芳	公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会事務局長	重任
理 事	春日 好則	公益社団法人糸島市シルバー人材センター理事長	新任
理 事	今村 己敏	公益社団法人志免町シルバー人材センター理事長	新任
理 事	伊藤 猛宏	一般社団法人新宮町シルバー人材センター理事長	新任
理 事	竹内 博孝	公益社団法人行橋市シルバー人材センター理事長	重任

理事	伊藤 英俊	公益社団法人嘉麻・桂川広域 シルバー人材センター理事長	新任
理事	井形 陽一	公益社団法人大牟田市シルバー 人材センター理事長	重任
理事	村松 正文	公益社団法人久留米市 シルバー人材センター理事長	新任
理事	高田 澄男	公益社団法人柳川市シルバー 人材センター理事長	重任
監事	里見 忠輔	公益社団法人春日市シルバー 人材センター理事長	新任
監事	井上 憲一	財団法人福岡県中小企業振興 センター参事（前事務局長）	新任

以上で議案の審議も終了し、事務局から次の報告事項について説明を行った。

- (1) 平成24年度予算実績比較報告書
 - (2) 平成25年度事業計画
 - (3) 平成25年度収支予算
 - (4) 平成25年度収支補正予算
- 以上4件の報告について、議長は報告事項として承認する旨を述べ、全ての審議の終了を宣言、降壇された。

役職員研修会



定時総会終了後、役職員研修会を開催しました。『シルバー人材センター訴訟事例から学ぶトラブル対策』と題し、明倫国際法律事務所弁護士の中雅敏氏に講演をお願いしました。

「会員の業務中の事故とセンターの責任」等、就業先で発生した2件の事故事例を解りやすく説明していただき、センターに大きな責任が発生することや会員の健康状態、労働能力の正確な把握など、センターが注意すべきことについてもお話いただきました。

最後に、クレーム対応についてお話いただき、クレームが大きくなる理由は、「クレーム対応に対するクレーム」であることが多いこと。また、親切かつ真剣に対応することが大事であるが、執拗なクレームには毅然と対応し、センターのみで悩まず連合会を通じ、法による解決の道を選択することも必要であることなどを教えていただきました。



シニアワークプログラムのご案内

シニアワークプログラム事業とは

県内在住の55歳以上の就職希望者を対象に、雇用を前提とした技能講習を行い、講習終了時に管理選考（面接会）実施により、雇用就業を支援する事業です。この事業は、福岡県シルバー人材センター連合会が厚生労働省福岡労働局より受託した、国の事業です。

技能講習

地域の事業主団体等の協力のもと、雇用を前提とした技能講習を実施します。この技能講習は、事務系、マンション管理員、警備、フォークリフト等々の仕事に従事するにあたって必要な知識と技術の基本項目を習得するものです。

技能講習の地域

県内の4地域、福岡、北九州、県南、筑豊で行います。

技能講習の種類……下記の14講座です

 警備・受付 管理	 フォーク リフト	 ビジネス パソコン実務	 パソコン 講師補助
 建築CAD	 刈払機 チェーンソー	 マンション 管理員	 販売事務
 玉掛け 移動式 クレーン	 社会保険 入門	 樹木・ 緑地	 パソコン 会計事務
 ビル クリーニング 業務			

介護職員初任者研修

資格取得を目的として実施し、合計132時間（約24～25日間）の受講となり、研修終了と同時に修了証明書が授与され、資格取得ができます。



資格証明書等が交付される講習

- ◎ フォークリフト講習……制限荷重1トン以上～無制限のフォークリフト運転資格証明書を交付
- ◎ 刈払機・チェーンソー取扱講習……労働安全法令に係る講習を修了したことを証する証明書を交付
- ◎ 介護職員初任者研修……国家資格である「介護職員初任者研修」修了証明書を交付

管理選考（面接会）の実施

本年度は、各技能講習修了者に対して、雇用を確実にするために、講習会終了時に、求人企業を招聘し、所管の公共職業安定所（ハローワーク）の立会いのもと面接会を実施します。

ふくおか子育てマイスターが続々誕生しています！

あなたもふくおか子育てマイスターになりませんか？

福岡県の事業で当連合会で実施しているふくおか子育てマイスター認定研修会が今年度も各地域で開催されています。前半の5会場を終え、11月末現在450名の子育てマイスターさんが誕生しています。子育て支援に興味をお持ちの60歳以上の方はぜひご参加ください！

今後の 研修日程 (各会場定員50名)



会 場	日 程	締切り日
筑後市会場 九州芸文館 筑後市大字津島1131	1 / 7(火)、1 / 10(金)、1 / 16(木)、 1 / 22(水)、1 / 28(火)、1 / 30(木)、 1 / 31(金)	12 / 25(水)
福岡市会場 ふくふくプラザ 福岡市中央区荒戸 3 - 3 - 39	2 / 3(月)、2 / 10(月)、2 / 17(月)、 2 / 19(水)、2 / 25(火)、2 / 26(水)、 2 / 28(金)	1 / 23(木)

応募方法

各シルバー人材センターや市町村窓口（※）に設置している申込みチラシに必要事項を記入の上、郵送またはFAXにてお申込み下さい。締切日を待ち応募多数の場合は抽選ののち受講決定のお知らせを郵送いたします。



ふくおか子育てマイスターの活動状況

ふくおか子育てマイスター認定・登録後、各自それぞれの場所でご活躍のほか、自主グループが立ち上がり活動は広がりを見せています。託児や広場活動、ボランティアなど、地域の子育てに様々な形でかわりながら、ふくおか子育てマイスターの皆さんも喜びや生きがいを感じているようです。今年はフォローアップ研修も開催、更なる学びを得たり、久しぶりの仲間との再会で話に花が咲いたりで、ますますパワーアップしています。少しでも地域の子育ての支えになれるよう、事務局は今後も活動支援に取り組んでいきます。



問合せ先；ふくおか子育てマイスター事務局
電話 **092-481-1312** (月～金 9:00～17:00)

平成25年度 シニアワークプログラム地域事業 技能講習実施状況

本年度の技能講習の実施計画（60講習）のうち、すでに9月末時点で、52講習（申込締切済）が修了しています。

今後の技能講習は、1月以降、8講習を残すところとなりました。

講習会への皆様の参加をお待ちしています。

講習名	講習日数	募集 予定数	講習 開始日	講習 終了日	開催場所
⑤ビルクリーニング業務講習	8	25	1月9日	1月21日	福岡市南区(福岡県経営者労働福祉協会)
⑥刈払機・チェーンソー取扱講習	8	25	1月14日	1月23日	福岡市南区(福岡県経営者労働福祉協会)
⑦樹木・緑地管理講習	10	25	1月16日	1月31日	糟屋郡篠栗町(県立社会教育総合センター)
⑧社会保険入門講習	8	25	1月27日	2月5日	福岡市南区(福岡県経営者労働福祉協会)
⑨フォークリフト講習	7	20	2月12日	2月20日	福岡市南区(福岡県経営者労働福祉協会)
⑩ビジネスパソコン実務講習	8	25	2月13日	2月24日	福岡市博多区(ブックローン福岡ビル)
⑪マンション管理員講習	8	25	2月3日	2月14日	福岡市博多区(福岡県消防会館)
⑧パソコン会計事務講習	8	25	2月6日	2月18日	小倉北区(北九州テレワークセンター)

● 応募要領について（下記事項は受講申込にあたっての必須要件となります。）

- ① 福岡県内在住の55歳以上のお仕事をお探しの方
- ② 公共職業安定所（ハローワーク）において、求職登録をされ求職番号をお持ちの方
- ③ 雇用・就業中の方は応募できません

● 受講申込については、福岡県シルバー人材センター連合会、最寄りのハローワーク及び地域シルバー人材センターへお問い合わせください。

編集後記

今年の流行語大賞（ユーキャン新語・流行語大賞）は、最多の4語が選出されました。「今でしょ!」「じえじえじえ」「倍返し」「お・も・て・な・し」は、確かによく耳にした気がします。仕事も「今でしょ!」でこなしなければいけいのですが…。

「じえ・じえ・じえ」とは、岩手県の方言で「えっ?」と、驚いたり感動した時に使うようで、「じえじえじえ…」と繋げていく事で、より大きい驚き・感動を表現するそうです。こうした地方の方言が流行語になるのは珍しいことで、ご当地の人が、「方言が標準語になった気がします」と仰っていました。

シルバー人材センター事業も、仕事の受注内容などには地域性のある事業ですが、会員の方々の就業機会を確保すること、組織の拡充など、抱えている課題は全国共通とも言えます。また、全国、福岡県下にもシルバー人材センターが設置されていない地域もあります。

全国どこにでもシルバー人材センターが存在し誰もが参加できる、いつでも仲間と働くことができるような組織になっていくことが、シルバー人材センターが「標準語」になるように思います。

ただし、流行で終わらないように。

公益社団法人
福岡県シルバー人材センター連合会

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル8階
TEL092-623-5656 FAX092-623-5677
(URL) <http://www.fscr.or.jp>



この印刷物は、石油系有機溶剤の一部を大豆油に置き換えたソインキを使用しています。